

(1) 平成1年6月1日

湘友会報



題字は天野元会長

発行責任者

湘南高等学校 昌男

藤沢市立鶴沼明治中学校 沢

藤沢市立鶴沼明治中学校 4151

印 刷 所 廉興印刷株式会社

新支部長に長谷川達雄君
盛況の藤沢支部

斎藤信房君の講演

曾根松、加藤、春原先生
ら来賓もお出典された。
藤野君（16回）が講長に
なり役員選改選については、
吉田文部長（9回）が胸内
に因由を説明し、その胸内と
任に長谷川達雄君（20回）
年卒（28回）に就任した。高
山（28回）が副会長に就任し、
片瀬の宿泊ホテル（日清二
郎君宿）で開催。天野君（1回）
が会計を司り寺田君（1回）が
長（3回）を始め会員10名
死亡の報をもとに本部職員
近くが参み、来賓には、石君（18回）、櫻井豊君（18
回）君が選任された。
第二部は、席相間（16回）の黙坐がなされ
た。司会は夫君（自民党）、藤
井（16回）が司会を務めた後、岡
田（15回）が司会を務めた。後、岡
田（15回）が司会を務めた。20回4卒還暦記念湘友会
本部に10万円寄贈

1532万3000円

1240名（4月末）

役員会で募金推進を再確認

総会の講演

海のシルクロード

とインド

南インドは東西文明の十字路

先駆者DK君が「海のシル

クロード」をシリ、放映

西交易港として繁盛し、14

世紀にはペリバッティ、14

世紀には、ペリバッティ、

それが中国の青磁、白

磁、染付等の陶磁器を映

出しだす。その企画で、14

世紀の中国の陶磁器を映

出しだす。その企画で、14

世紀の中国の陶磁器を映

出しだす。その企画で、14

世紀の中国の陶磁器を映

出しだす。その企画で、14

世紀の中国の陶磁器を映

出しだす。その企画で、14



長生きしようと一湘会

より多くの方のご協力を

湘友会長 富岡周吉郎

6月25日(日)午前10時30分(文化祭当日)

(演題) イスマバードと世界

大会議室で開かれる。

会報告

議事は、募金運動の推進等を中

監査報告

議事は、募金運動の推

実快生（10回生）総会

53年ぶりの甘利君、神戸から三觜君



（三）の寄せ書

お 願 い

1. 一、募金について
建設費と振替紙を、送ての会報に取り込みました。既に納入くだ
った方は、先礼と存りますが、ご存ください。
2. 二、支拂申付者の方名
記入を参照の上、是非募金に応じてください。
ようお願いします。(振替用紙本部負担を利用下さい)
- 三、名簿発行について
平成3年の70周年を記念して発行を開始して、唯今名簿の訂正整理を行
なつたところです。勤務者、住所、同封の用紙に記入の上郵送下さい。
た友人、勤務等を存じてから、同封の用紙に記入の上郵送下さい。
さい。
四、購入(5千円)希望者は、ご予約下さい。同封振替用紙をご利用
ください。(名簿は平成3年発行確定です。)

1. 紙面の都合で、後からいたしまして原稿（秀麗会・五回生、母校雑誌感音原典）のうち、掲載できなくなつたのがあります。次号に承りますので、ご了承ください。
2. 16回生同期会については、平成元年度の分を掲載して、前年度（33年）

不作会（27期会）総会



1963年度 湖南27期会総会 於 八重洲富士屋ホテル

6月10日 八重洲富士屋ホテル
正山・石岡 ドクトルの講演

化」と題して、主とついて、興味深い講

右が参会
をうかがい、江見後輩と黒川輝郎君等の懇親会には花を咲かせた。小野川は、久しく前にに出場権を得たサッカー部の皆を喜ばせた。次回も、いい参加者がいることを期待している(幹事 横山)。

相遙會（地理研〇B會）

59回生同期会

ニューヨークで死をとげた小瀬だ内容だった。豪華なホテル歓談の花が咲い

不慮の事故
高村君を悼ん
懇談会に入
いっぱいに
た。

多くが、大学4
い社会人であり
を付けようとす
ながりを確認し

年・3年生、あ
る時点での再会は
合ういい機会だ。

るいは勤務年数の
方向性にようやく
は、将来への横の
た。



ガーデンアイランドの基地内
の特殊潜航艇前に立つ筆者。

湘友会報

第31号

私は海軍兵学校卒業後の実習も終え、昭和十六年春四月、海軍少尉に任せられると同時に、特殊潜航艇（特潜）の搭乗員となる教育訓練を受けることとなつた。これも海兵同期生約二百九十名中の僅か四名であつた。

特潜は魚雷を二本発射できる超小型潜水艇で、極めて堅重な秘密の下に開発された新しい兵器で、操縦性能は安全面から見るとまだ極めて不備なものであった。秋の訪れと共に夢想だにしなかつた太平洋戦争突入の気配が感じられるようになつた。そして十二月八日の真珠湾奇襲に特潜五隻が第一次特別攻撃隊として参加することとなつた。参加の艇は大型潜水艦に搭載して真珠湾口まで運び、いた二隻の艇を発見して、四名の遺体と共に揚収した。さらに戦争の最中にもかかわらず、敵国軍人である彼等の勇氣を称えて海軍に託して日本に送り返したのである。

戦後二隻の艇体は首都キ

の許に還った特潜は一隻もなかつた。その後も戦争は、シドニー港を奇襲攻撃することに拡大の一途をたどつた。ながら港外で待機する母潜の許に還つた特潜は二隻となり、私とその一隻の艇長として参加することとなつた。南太平洋トラック島前進基地で、母潜の甲板に搭載された艇と共にシド

二一向う途上、五月十八日夜半、母潜の浮上と共に

艇の整備にとりかかると間

もなく不幸にも艇内にたま

ついた水蒸ガスに引火し

た。ブランク完成を前にし

て豪州国民の一部でこれに

に懲罰を行なわれた。私も

反対の声がおこったが、これに列席した感概一入のも

ホーク豪首相は「このブラン

クは豪州国民の成熟と包

含みますものである。時

の平和追求を全力を尽くさ

れんことを」と演説して全

国民に理解を求めた。そし

てその除幕式が、昨年9月

10日豪州海軍主催により、

た。ブランク完成を前にして豪州国民の一部でこれに懲罰を行なわれた。私も反対の声がおこったが、これに列席した感概一入のものホーク豪首相は「このブランクは豪州国民の成熟と包含みますものである。時の平和追求を全力を尽くされんことを」と演説して全国民に理解を求めた。そしてその除幕式が、昨年9月10日豪州海軍主催により、

記事で、冷静な分析も加えられて広く報道された。あるいは新聞の写真入りの記事で、この行事の模様はテレビで放送された。

足柄山乃夫婦陶芸師

湘南紳士録(27)

石志良 光 (35回)

エミコ (41回)



海蒼間荒

湘南紳士録(27)

石志良 光 (35回)

エミコ (41回)



海蒼間荒